

「しんがた コロナウイルス」の ワクチンについて：ていがくねんよう低学年用

【コロナウイルスに かかると どうなるの】

「かぜ」にかかります。「おなか」のちょうしがわるくなったり、「あじ」や「におい」が感じにくくなることもあります。

せきがでてぐあいがわるくなるひともいます。

【ワクチンはなにが いいの】

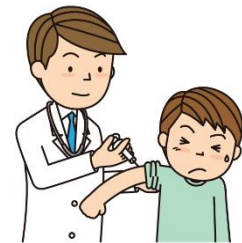
「ファイザーの ワクチン」をうちます。

ワクチンをうつことで、コロナウイルスに「ていこうする ちから」がつよくなります。でも、ワクチンでぐあいがわるくなることや、ワクチンをうつことができないひともいるので、おとなと「そうだん」してきめます。

【どうやって うつの？】

「うで」のつけねにおちゅうしゃをします。

1かいめから3しゅうかん たったら、2かいめをします。



【ワクチンのときに きをつけること】

- ちゅうしゃの「いたみ」でぐあいのわるくなるひとがいます。
- ゆっくり「いきをして」きもちがおちついてからおちゅうしゃをしましょう。
- おちゅうしゃのあとは、15～30ふんはずかにやすんでください。
- ちょうしがおかしい、むねがいたい・くるしい、いきができない、ふらふらするときは、ちかくのおとなにすぐおしえましょう。

いわていかにいだいがくふぞくびょういん しょうにか わくちんかかり
いわてけんいしかい
いわてけん